



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月31日

上場会社名 コタ株式会社
 コード番号 4923
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東証第二部
 URL <http://www.cota.co.jp/>

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,407	4.5	777	△3.5	776	△3.0	479	△18.2
25年3月期第3四半期	4,217	7.7	805	△7.8	800	△7.5	587	19.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	45 38	—
25年3月期第3四半期	55 50	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,556	6,131	81.1
25年3月期	7,277	5,824	80.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,131百万円 25年3月期 5,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	18 00	18 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18 00	18 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,900	6.4	909	4.5	873	△0.8	537	△14.6	50 82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	10,581,450株	25年3月期	10,581,450株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,908株	25年3月期	4,009株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	10,576,788株	25年3月期3Q	10,577,738株

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

なお、添付資料P. 11「3 四半期財務諸表 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)」に記載のとおり、当社は平成26年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 平成26年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、46円20銭となります。

添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報.....	2
	(1) 経営成績に関する説明.....	2
	(2) 財政状態に関する説明.....	4
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
3	四半期財務諸表.....	6
	(1) 四半期貸借対照表.....	6
	(2) 四半期損益計算書.....	8
	(3) 四半期財務諸表に関する注記事項.....	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	9
	(重要な後発事象)	11

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策による円高の是正や株価の上昇を背景とした企業収益の改善等、緩やかな回復傾向の兆しが見られますが、個人消費については、未だ力強さを欠いており、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましては、美容室顧客の来店サイクルの長期化や来店客数の減少、客単価の下落等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、平成25年11月と12月に当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」を開催し、トイレタリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

一方、売上原価につきましては、増収に伴い、前年同四半期を上回りました。また、販売費及び一般管理費につきましても、先行投資として営業職を中心に積極的な人材採用を行ったことによる人件費の増加等により、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,407百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は777百万円（前年同四半期比3.5%減）、経常利益は776百万円（前年同四半期比3.0%減）、四半期純利益は479百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

なお、営業利益及び経常利益の前年同四半期比の減少幅に対して、四半期純利益の前年同四半期比の減少幅が大きい理由は、前年同四半期に特別利益として「コタ株式会社 京都工場」建設に係る京都府からの補助金収入150百万円を計上した影響によるものであります。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

① トイレタリー

トイレタリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。毛髪のダメージケアに対する消費者の関心の高まりから、一般市場品におきましても高付加価値なトイレタリー製品へのニーズが増加しております。

当社では、美容室の来店客に対する毛髪及びヘアケアのカウンセリング提案をベースとした店販の推進を、美容室に提案してまいりました。さらに、「コタ全国店販コンクール」におきましても、主力の「コタ アイ ケア」の販売が好調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,928百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益（売上総利益）は2,126百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

② 整髪料

ヘアスタイルの多様化に伴い、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、「コタ全国店販コンクール」におきましても、従来の主力製品である洗い流さないタイプのトリートメントを中心に、美容室の来店客に対する毛髪及びヘアスタイルのカウンセリング提案を通じて、店販の推進に注力いたしました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は715百万円（前年同四半期比5.5%減）、セグメント利益（売上総利益）は541百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーを含め、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、主力の「グラフィカ」におきまして専用の販促ツールを活用し、拡販に注力してまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は335百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益（売上総利益）は211百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

④ 育毛剤

一般市場品との競合が激しいセグメントとなっておりますが、美容室におきましては、頭皮ケアへの関心の高まりからヘッドスパメニューが推進されております。

当社では、主力の「コタセラ」シリーズを中心に、頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案に注力いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は188百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益（売上総利益）は151百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

⑤ パーマ剤

ヘアスタイルのトレンドがパーマに回帰する傾向は見受けられず、パーマ市場は引き続き減少傾向にあると推測されます。

当社では、主力の「コタウェーブ リジカル」を中心に、美容室に対してパーマメニューの提案を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は115百万円（前年同四半期比13.2%減）、セグメント利益（売上総利益）は75百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を計上しております。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は124百万円（前年同四半期比37.4%増）、セグメント利益（売上総利益）は60百万円（前年同四半期比62.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から278百万円増加し、7,556百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が327百万円、受取手形及び売掛金が89百万円、商品及び製品が59百万円増加し、有価証券が169百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から27百万円減少し、1,425百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が213百万円増加し、未払金が319百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から306百万円増加し、6,131百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が306百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、81.1%（前事業年度80.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営環境につきましては依然不透明な要素が多く、景気動向によっては美容室の経営に直接影響する事態を招き、当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、事業活動を行うことには何ら変わりなく、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に引き続き注力する考えであります。

なお、業績予想につきましては、平成25年11月から12月にかけて開催いたしました当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の実績は堅調に推移したものの、一部の代理店において、美容室に対する販売実績が計画を下回ったことから、平成25年5月9日に公表いたしました当事業年度の通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,140	1,006	1,002	616	58 27
今回予想 (B)	5,900	909	873	537	50 82
増減額 (B-A)	△240	△97	△128	△78	—
増減率 (%)	△3.9	△9.7	△12.8	△12.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	5,545	870	881	629	59 50

2 サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,861	359,831
受取手形及び売掛金	1,076,227	1,165,405
有価証券	1,860,620	1,691,060
商品及び製品	468,639	527,839
仕掛品	9,278	7,779
原材料及び貯蔵品	157,673	164,487
その他	127,108	195,655
流動資産合計	3,731,408	4,112,059
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,457,413	1,410,939
土地	1,158,906	1,158,906
その他（純額）	546,768	448,081
有形固定資産合計	3,163,087	3,017,926
無形固定資産	83,621	66,630
投資その他の資産	299,170	359,614
固定資産合計	3,545,879	3,444,171
資産合計	7,277,288	7,556,231
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,006	76,623
未払金	388,125	69,057
未払法人税等	273,200	262,685
未払消費税等	27,140	43,118
賞与引当金	164,216	72,004
役員賞与引当金	—	16,943
販売奨励引当金	26,752	240,734
その他	82,686	143,636
流動負債合計	1,000,126	924,801
固定負債		
退職給付引当金	12,365	20,390
役員退職慰労引当金	335,480	368,782
長期預り保証金	104,518	111,133
固定負債合計	452,363	500,305
負債合計	1,452,490	1,425,107

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,801
利益剰余金	5,107,758	5,414,654
自己株式	△1,895	△2,683
株主資本合計	5,824,462	6,130,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	335	551
評価・換算差額等合計	335	551
純資産合計	5,824,797	6,131,124
負債純資産合計	7,277,288	7,556,231

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）
売上高	4,217,130	4,407,237
売上原価	1,202,703	1,240,472
売上総利益	3,014,427	3,166,765
販売費及び一般管理費	2,208,962	2,389,715
営業利益	805,465	777,049
営業外収益		
受取利息	990	1,076
受取配当金	3,790	2,508
投資有価証券売却益	2,981	1,285
受取賃貸料	3,963	4,711
その他	9,869	5,019
営業外収益合計	21,596	14,602
営業外費用		
投資有価証券売却損	3,819	—
たな卸資産廃棄損	18,094	6,540
賃貸費用	1,386	1,895
支払手数料	—	4,669
その他	3,452	2,158
営業外費用合計	26,753	15,263
経常利益	800,308	776,389
特別利益		
補助金収入	150,000	—
特別利益合計	150,000	—
税引前四半期純利益	950,308	776,389
法人税、住民税及び事業税	353,248	357,663
法人税等調整額	10,028	△61,255
法人税等合計	363,277	296,407
四半期純利益	587,031	479,981

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,705,164	757,098	348,200	183,762	132,627	4,126,854	90,276	4,217,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,705,164	757,098	348,200	183,762	132,627	4,126,854	90,276	4,217,130
セグメント利益	1,920,144	578,274	242,098	149,970	86,552	2,977,041	37,386	3,014,427

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,977,041
「その他」の区分の利益	37,386
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△2,208,962
四半期損益計算書の営業利益	805,465

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,928,748	715,437	335,299	188,671	115,059	4,283,216	124,021	4,407,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,928,748	715,437	335,299	188,671	115,059	4,283,216	124,021	4,407,237
セグメント利益	2,126,191	541,438	211,319	151,467	75,771	3,106,188	60,576	3,166,765

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	3,106,188
「その他」の区分の利益	60,576
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△2,389,715
四半期損益計算書の営業利益	777,049

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（重要な後発事象）

（株式分割）

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

① 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

② 株式分割の概要

(a) 分割の割合及び時期

平成26年4月1日付をもって平成26年3月31日（月曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(b) 分割により増加する株式数

株式分割前の当社発行済株式総数	10,581,450株
今回の分割により増加する株式数	1,058,145株
株式分割後の当社発行済株式総数	11,639,595株
株式分割後の発行可能株式総数	35,138,400株

③ 日程

基準日公告日	平成26年3月14日（金曜日）
基準日	平成26年3月31日（月曜日）
効力発生日	平成26年4月1日（火曜日）

④ 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	50円45銭	41円26銭

(注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益金額は、平成25年4月1日付の株式分割（1：1.1）及び平成26年4月1日付予定の株式分割（1：1.1）が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。